



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社セキュア 上場取引所 東
コード番号 4264 URL <https://www.secureinc.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 辰成
問合せ先責任者(役職名) 取締役Co-CFO (氏名) 佐藤 仁美 (TEL) 03(6911)0660
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,791	22.5	252	65.8	248	65.5	198	57.1
2023年12月期第1四半期	1,462	80.2	152	472.4	150	496.3	126	495.4

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 202百万円(53.3%) 2023年12月期第1四半期 132百万円(462.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	41.79	40.01
2023年12月期第1四半期	26.75	25.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	4,139	1,227	29.6
2023年12月期	2,749	1,022	37.2

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 1,226百万円 2023年12月期 1,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,250	20.4	300	59.6	280	59.6	230	36.3	48.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 株式会社ジェイ・ティー・エヌ、除外 1社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	4,747,920株	2023年12月期	4,744,920株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	42株	2023年12月期	42株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	4,744,977株	2023年12月期1Q	4,719,920株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注記事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響は緩和され、社会経済活動の正常化が進み、景気を持ち直しの動きが見られました。

一方で不安定な国際情勢による資材価格の高騰や為替変動による物価上昇など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、「安心・安全に働く環境」を創出するため、最先端のAI（画像認識）技術とセキュリティ専門企業としての長年の実績・ノウハウを駆使し、最適なソリューションの提供に努めてまいりました。

売上高においては、「SECURE AC（入退室管理システム）」では、通常案件は当初の計画通りに順調に進捗しましたが、大型案件の需要は想定以上に強く受注も好調だった結果、前年同四半期比で導入件数は堅調に推移し売上高も増収で着地しました。また、高利益率の案件を獲得できたことから、売上総利益率の改善に寄与しました。

「SECURE VS（監視カメラシステム）」では、監視カメラに対する需要の拡大を背景に、概ね計画通りに進捗し、大型案件は前年同四半期比で同水準の推移となりましたが、中・小型案件が順調に進捗し導入件数も増加しました。

2024年1月には、株式会社ジェイ・ティー・エヌの全株式を取得し、子会社といたしました。施工に関する慢性的な人手不足リスクの軽減、納品プロセスにおけるキャパシティ・業務品質の改善などのシナジーを見込んでおり、今後のさらなる成長を目指します。

同じく2024年1月には、株式会社理舎と業務提携を実施いたしました。これまで未開拓であった病院へのセキュリティシステム導入を実現し、セキュアが目指す、あらゆる不安から人々を守り、安心して暮らせる社会作りを目指します。

2024年2月には、株式会社電翔と業務提携を実施いたしました。商業施設や文教施設の入退室管理DX化によるセキュリティと利便性の向上、医療系施設においてAIカメラ活用による省人化運営とセキュリティ強化などの実現を目指します。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高は1,791,697千円（前年同四半期比22.5%増）、営業利益は252,201千円（前年同四半期比65.8%増）、経常利益は248,934千円（前年同四半期比65.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は198,315千円（前年同四半期比57.1%増）となりました。

なお、当社グループは「セキュリティソリューション事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,139,363千円となり、前連結会計年度末に比べ1,389,629千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加677,857千円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加367,345千円、のれんの増加290,033千円があったことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,912,217千円となり、前連結会計年度末に比べ1,184,792千円増加しました。これは主に、長期借入金の増加575,800千円、短期借入金の増加200,000千円、買掛金の増加190,716千円、1年内返済予定の長期借入金の増加104,008千円があったことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,227,145千円となり、前連結会計年度末に比べ204,837千円増

加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加198,315千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月14日付「2023年12月期 決算短信」において公表いたしました2024年12月期(2024年1月1日～2024年12月31日)の通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	808,950	1,486,808
受取手形、売掛金及び契約資産	786,836	1,154,181
商品	725,608	761,999
仕掛品	18,472	10,904
前払費用	41,838	62,134
未収還付法人税等	71	74
未収消費税等	91	86
その他	26,503	25,822
貸倒引当金	△43	△50
流動資産合計	2,408,330	3,501,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	66,026	66,326
工具、器具及び備品	121,635	122,476
リース資産	4,237	7,209
その他	8,292	8,522
減価償却累計額	△98,919	△105,024
有形固定資産合計	101,271	99,509
無形固定資産		
のれん	—	290,033
ソフトウェア	49,222	44,399
リース資産	4,155	2,077
その他	47	47
無形固定資産合計	53,425	336,557
投資その他の資産		
投資有価証券	18,836	18,836
敷金	118,387	119,910
繰延税金資産	47,582	49,556
その他	1,899	14,821
貸倒引当金	—	△1,792
投資その他の資産合計	186,705	201,333
固定資産合計	341,402	637,400
資産合計	2,749,733	4,139,363

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	342,586	533,302
工事未払金	—	36,036
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	199,916	303,924
未払費用	186,902	195,086
リース債務	5,009	3,545
未払法人税等	40,242	84,804
未払消費税等	76,026	75,339
前受金	95,049	87,061
賞与引当金	48,105	26,994
その他	4,120	21,634
流動負債合計	1,197,959	1,767,728
固定負債		
長期借入金	474,759	1,050,559
長期前受金	36,578	60,835
リース債務	481	2,517
商品保証引当金	12,477	12,132
退職給付に係る負債	—	11,273
資産除去債務	5,170	5,170
その他	—	2,000
固定負債合計	529,466	1,144,489
負債合計	1,727,425	2,912,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	540,827	541,829
資本剰余金	421,834	422,833
利益剰余金	58,480	256,796
自己株式	△117	△117
株主資本合計	1,021,024	1,221,341
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△1,265	2,931
為替換算調整勘定	2,388	2,712
その他の包括利益累計額合計	1,123	5,643
新株予約権	160	160
純資産合計	1,022,308	1,227,145
負債純資産合計	2,749,733	4,139,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,462,610	1,791,697
売上原価	888,828	1,021,724
売上総利益	573,781	769,972
販売費及び一般管理費	421,669	517,771
営業利益	152,112	252,201
営業外収益		
受取利息	4	7
為替差益	208	—
その他	214	155
営業外収益合計	427	162
営業外費用		
支払利息	1,907	3,016
為替差損	—	319
その他	201	93
営業外費用合計	2,108	3,429
経常利益	150,431	248,934
税金等調整前四半期純利益	150,431	248,934
法人税等	24,160	50,618
四半期純利益	126,270	198,315
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	126,270	198,315

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	126,270	198,315
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	6,290	4,197
為替換算調整勘定	△215	323
その他の包括利益合計	6,075	4,520
四半期包括利益	132,345	202,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,345	202,836
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間から、株式の取得により株式会社ジェイ・ティー・エヌを連結の範囲に含めております。なお、株式会社ジェイ・ティー・エヌは当社の特定子会社に該当しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、「セキュリティソリューション事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社ジェイ・ティー・エヌ

事業の内容：電気通信工事業・電気工事業

② 企業結合を行った主な理由

当社は「ソフト」と「ハード」で構成される物理セキュリティシステムを事業領域として、主に「オフィス・工場・商業施設」などに対し、ソフトウェアの設計やハードウェアの選定から施工・アフターフォローまで、一貫したサービスを提供しております。

この度株式を取得したジェイ・ティー・エヌは、神奈川県内において、監視カメラシステム構築を含む電気通信・電気設備に関する工事の全般を提供しており、社内に多数の設備工事に関する資格者を有し、施工に関する様々なノウハウを蓄積しております。

当社は、拡大する様々な物理セキュリティに対するニーズを背景に、営業を中心とする専門人材の採用と育成を通し事業成長を実現してきました。

本件買収は施工に関する慢性的な人手不足リスクの軽減と更なるノウハウ・専門性の獲得につながるものであり、当社の競争力をより高めるとともに、中長期的な成長の確度を高めるものと考えております。

また、ジェイ・ティー・エヌにおいても、上場企業である当社のブランドを活かし、採用の強化や顧客の獲得について連携し、事業の拡大に繋げてまいりたいと考えております。

③ 企業結合日

2024年1月5日（株式取得日）

2024年1月1日（みなし取得日）

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称
変更はありません。

⑥ 取得した株式数及び議決権比率
普通株式：241株
(議決権所有割合：100%)

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠
当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間
2024年1月1日から2024年3月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	755,000千円
取得原価		755,000千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん
297,470千円

② 発生原因
主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力によるものであります。

③ 償却方法及び償却期間
10年間にわたる均等償却